

瀬尾和敬議会だより

平成21年6月議会

平成21年第3回定例会(6月議会)は、6月9日より7月3日までの25日間開催されました。

薩摩川内市では、原則として補正予算は組まないことになっていましたが、県の基金事業の確定、国の緊急経済対策に関わる補正予算確定などにより、一般会計2次補正(1億7千万円余り)・3次補正(18億8千万円余り)の予算が計上され、21年度一般会計予算は、総額481億3千万円余りとなりました。2次、3次補正についての概要は次のページ以降にお知らせします。

一般質問は、18日～22日までの3日間行われましたが、今回は初日目の5番手に登壇し、岩切市長には、前回に引き続き「シティセールスについて」、上屋教育長には「まちづくり教育の推進について」それぞれ質問しました。質疑応答の概略は3～4ページに掲載します。



【クールビズで一般質問 6.18】

「瀬尾和敬議会だより」目次

- P 1 : 補正予算の概略
- P 2～3 : 2次・3次補正予算の概要
- P 3～4 : 一般質問の質疑応答の概略
- P 4 : 今議会のトピックスなど

2次補正予算1億7千万円追加

3次補正予算18億8千万円追加

一般会計予算 481億3千万円に

2次補正では、一般会計の中で、ふるさと雇用再生特別基金事業(県の4事業)を中心に、特定離島ふるさとおこし推進事業(26事業)、特別会計では特定離島に関わるふるさとおこし推進事業(7事業)が計上されたものです。

3次補正では、きわめて厳しい地方財政の現状を踏まえ、「経済危機対策」として国の21年度1次補正予算成立を受けて「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」及び「地域活性化・公共投資臨時交付金」を活用した公共事業のほか、子育て支援対策などの国の関連施策に伴う所用の予算を計上したものになっています。

【2次補正予算追加の概要】 ①ふるさと雇用再生特別基金事業 (単位：千円)

課名	事業名	予算額	課名	事業名	予算額
農政課	離職者等就業・就農促進緊急対策事業	4,090	商工振興課	中心市街地活性化情報発信等事業	2,128
畜産課	甌地域畜産指導員設置事業	3,156	観光課	九州新幹線全線開通プレキャンペーン事業	8,004

②特定離島ふるさとおこし推進事業 (単位：千円)

課名	事業名	予算額	課名	事業名	予算額
企画政策課	長目の浜活性化事業	4,379	建設整備課	市道須口線整備事業	52,000
	かんぱち恋まつり	5,150		市道桑之浦線整備事業	7,000
	こしきの恵・食の祭典 in 甌島	2,000		西の浜海岸植林帯整備事業	11,500
高齢福祉課	デイサービスセンター 送迎車購入事業	5,000		市道中甌中野線整備事業	9,000
	林務水産課	林道青瀬線改良舗装事業		35,000	内川内地区集落道整備事業
林道奥戸線側溝排水整備事業		7,000		市道片野浦瀬々野浦線整備事業	35,000
魚介類中間育成放流事業	魚介類中間育成放流事業	6,300	消防総務課	防火水槽整備事業	5,000
	甌島地域オニヒトデ及び ウニ駆除事業	3,600		消防団施設整備事業	3,823
	浮魚礁設置事業	5,013	文化課	トシドン保存・活性化事業	4,550
漁船漁業利便施設整備事業	漁船漁業利便施設整備事業	8,436	市民スポーツ課	シニアスポーツリーダー 養成事業	2,100
	観光課	甌島誘客宣伝事業	1,709		

【3次補正予算追加の概要】

(単位：千円)

課名	事業名	予算額	課名	事業名	予算額
コミュニティ課	地区コミ・エレベーター設置事業(峰山)	10,864	建設維持課	梅ヶ淵歩道橋整備事業	68,000
地域医療対策課	医療機器整備事業	24,910	都市計画課	温泉場土地区画整理事業	107,000
福祉課	隣保館エレベーター設置事業	46,117	建築住宅課	市営住宅火災警報器設置事業	3,993
子育て支援課	認可外保育所等地上デジタル放送対応事業	7,800	消防総務課	常備消防車両・資機材等整備事業	156,893
高齢福祉課	老人福祉施設整備事業	30,200		防火水槽整備事業	5,000
林務水産課	片野浦漁港浚渫工事	21,000		消防団車両・資機材等整備事業	15,836
	魚礁設置事業	28,000	教育総務課	私立幼稚園地上デジタル放送対応化事業	900
耕地課	維持管理適正事業	24,000	社会教育課	学校ICT環境整備	500,372
	市単土地改良事業	4,500		地域公民館エレベーター設置事業	83,109
観光課	甌島観光ルート遊歩道・展望施設整備事業	35,643			中央公民館等地上デジタル放送対応化事業
		建設整備課	橋梁整備事業	30,000	上水道課
	一般道路整備事業	163,500	商工振興課	自動車運送事業バス購入事業	27,563
建設維持課	道路施設改修事業	200,000	複数課	公共施設地上デジタル放送対応化事業	14,429

一般質問 質疑応答の概略



【質問：1】シティセールスについて

- (1)シティセールス推進本部が設置されたが、その取り組み状況について
- (2)ブランド推進会議の現状について
- (3)県都鹿児島市へのアンテナショップ開設について
- (4)関東・関西薩摩川内会などとの連携の状況について
- (5)国内の友好都市盟約締結について
- (6)関係部局の横断的な連携をどのように図っているか。また、各部局の取り組みについて

【質問の背景】

農業政策、福祉政策、特産品開発、定住対策、観光推進、企業誘致、過疎地対策など、市が取り組むありとあらゆる分野で、他の街との差別化をアピールすることが「シティセールス」につながるものと考えている。「シティセールス」は、官民挙げて取り組む大きなプロジェクトである。市当局として、どのような意気込みで取り組んでいるか質したい。

【回答】

- (1)4月30日にシティセールス本部会議を開き、農産物や甑の海産物などを扱う34事業について検討を加えたところである。5月24日の関西鹿児島フェスタには、市民の間では数店が出店した。5月29日に、「薩摩川内市スピリッツ」のロゴ・マークも決定したが、1年半後の新幹線全線開通に向けて、各方面にシティセールスを仕掛けていきたい。
- (2)7回の研究会を経て、2回ブランド推進会議を開催した。
- (3)県の産業会館や「おいどん市場」への出品で、売り込みを図りたい。
- (4)関東・関西薩摩川内会とは、郷土会や「川内はんや」などで交流を深めている。今後も薩摩川内市の広告塔として位置づけ、更に連携を深めたい。
- (5)合併前は、それぞれ市町村で友好都市関係にあった所も現在は休止状態となっている。民間レベルでは、「せんだい」繋がりや、奥州「仙台市」と交流している団体がある。富山県高岡市(中越パルプ関連)、北海道ニセコ町(有島3兄弟関連)、神奈川県綾瀬市(澁谷氏関連)など歴史・文化・経済など共通する課題を模索して、民間の協力もお願いしながら、取り組みたい。
- (6)平成21年を「観光元年」と位置づけ、全職員が薩摩川内市の「歴史・文化・伝統・特産品」等について勉強し、シティセールスに取り組めるよう努めたい。

【質問：2】「まちづくり教育」の推進について

- (1)「ふるさと教育」推進の状況はどうか。
- (2)教育分野における一体感醸成の現状はどうか。
- (3)青少年に夢や希望、知恵を生かした「まちづくり教育」の推進は出来ないか。

【質問の背景】

今年1月視察した大分県豊後高田市では、「昭和の町は教育の町です」という事業を展開している。昭和の時代の生活環境や教育環境を思い起こしながら、町おこしと学力向上に努めている。青少年が観光客に「語り部」として町並みの案内も行っている。青少年の愛郷心を育み、ふるさとを誇りに思える教育推進が重要ではないか、と考える。

【回答】

- (1) 社会科や総合的な学習の時間を使って、山・川・海・湖などの豊かな自然を愛し、ふるさとを誇りに思うような教育推進に努めてきた。
- (2) 春の芸能祭、秋の市民運動会、子ども綱引き大会、カヌー大会への参加、また、中学校生徒会交流などにより、薩摩川内市の一員であるという自覚が生まれてきた。
- (3) 小中一貫教育の中で、「ふるさと」を教材にし、「薩摩川内検定」(マイスター＝名人の掘り起こし)、「観光パンフレット作成」(ホテルなどで配布)、「鹿島学入門」(テングサからとろてんの作り方指南)など多方面に亘って市内外に「ふるさと」を発信する気概がある。これらの活動を通じて「語り部」として育つものとする。

◆◆◆今議会のトピックス◆◆◆

◎プロ野球2軍「オリックス」本拠地構想

プロ野球2軍「オリックス」が、薩摩川内アリーナ球場を本拠地にする構想があります。年間40～60試合をこなすことになり、選手とその家族も住民票を移すというものです。新幹線が開通すればお客を呼べることで、清原和博氏が監督を引き受ければ、マスコミも大勢押し寄せ、薩摩川内市のネームバリューも上がるという計算です。確かに喉から手が出るような良い話です。ただ、これまで千葉ロッテマリーンズ(2軍)のキャンプ招聘に、市当局、議会、経済団体を挙げて取り組んできた経緯があり、事を慎重に運ばなければ、ロッテに「義理」を欠くことになり、更に「二兎を追って一兎をも得ず」ということにもなりかねません。

◎政策研究グループ「一献会(いっこんかい)」始動

薩摩川内市議会には会派があり、それぞれ活動していますが、この度有志7名で、会派を超えて政策研究グループ「一献会」を結成し始動しました。6月議会に向けて共同で取り組んだことは「薩摩川内市の少子化に歯止めをかける」というもの。7名が乳幼児をお持ちの方にアンケートを取り、その集計結果が6月議会に生かされました。子を産み、子育てし易い環境づくりのために、アンケートに示された意見を背景に3名が一般質問しましたが、「義務教育終了まで医療費無料化」について「年度内に検討を加え、来年度から大きな政策として取り組みたい」という市長の答弁を引き出すことに成功。今後「児童クラブ、保育施設、病児・病後児保育所の設置」などについても達成できるよう、メンバーは更に意欲を燃やしています。

【メンバー】江口是彦 川添公貴 瀬尾和敬(薩摩川内会) 徳永武次 谷津由尚(むつみ会)
持原秀行 江畑芳幸(市民連合)

《ご意見・要望は下記へ》

市政に関する要望やご意見は下記にお願いします。

〒895-1501

薩摩川内市祁答院町下手 2886-1

電話&FAX 0996-55-0485

メール① seo@po5.synapse.ne.jp

② k.seo@mopera.net

暑中お見舞い
申し上げます

[視察情報]

◎7月21日～23日、河川改修対策調査特別委員会で、広島市、徳島市に行政視察に出かけます。

◎8月5日～7日は総務文教委員会で、高松市、姫路市、茨木市に出かけます。

*視察結果は下記に掲載します。

URL: seokazutaka.web.fc2.com